

## 雨の中に・・・

松下幹生

雨降る坂を 去り行く背中  
コートの際を 立てながら  
振り向きもせず 去り行くあなた  
灯りが照らす 後ろ影  
きっと きっと きっとあなたは  
心の中で 悔やんでるはず  
私の側に 居られぬ事を

三年前も 篠つく雨に  
傘も持たずに 雨宿り  
あなたの姿 見かねた私  
送りましょうか 声掛けた  
きっと きっと きっとあなたは  
心の中で 戸惑いながら  
私の好意 喜んだはず

月日は流れ 共に暮らして  
幸せな日々 続いたが  
あなたの胸に 女の影が  
時々よぎる 移り香に  
きっと きっと きっとあなたは  
心離れて 行こうとしてる  
私が邪魔に なったのかしら